

共に語り、共に創る 光市の教育

「教育フォーラム in 光」

日時：8月20日(水) 9時30分～12時

会場：市民ホール

市では、二学期制を導入してから3年目を迎えています。学校では、児童生徒の確かな「学び」と豊かな「育ち」を推進していくために、さまざまな取り組みを展開しています。

新しい学習指導要領も公示され、次代を担う子どもたちの「教育」の方向性も見えてきたところです。

いつの時代でも、子どもを健やかに育てていくためには、学校と家庭や地域が協働して進める教育が必要です。

二学期制が定着しつつある本市教育の現状を紹介するとともに、国民的課題である「食育」について学校・家庭・地域が連携して推進する具体策を考えるため「教育フォーラム in 光」を開催します。

この機会に、本市教育への、市民の関心の高揚と課題解決に向けた実践活動について市民と教職員が共に考えます。

内容

学習活動の発表

附属光中学校

(管弦楽演奏)

束荷小学校

(束荷神舞上演)



海外派遣生徒の体験発表(2人)

海外のホームステイで得た体験を発表します。

児童生徒の学習活動の紹介

日常の学習活動で制作した作品およびその他の活動で発表・作成した学習成果物を展示します。

教職員の研究物等の展示

日々の実践を集積した研究物および趣味的作品を展示します。

教育シンポジウム

国民的課題である「食育」のさらなる充実を目指して学校、家庭、地域が連携した「食育」のあり方を考えます。

教育シンポジウム

コーディネーター

加藤秀夫(県立広島大学教授)

パネリスト

藤村浩治(周南農業協同組合

光営農センター長)

村上 博(光市生涯学習センター所長)

吉廣幸江(大和中学校PTA会長)

檜室弘子(大和中学校栄養教諭)

司会

中村雅之(浅江小学校教諭)

問合せ 教育開発研究所 ☎0833(74)3603

表紙写真の紹介

取り組もう

身近にできるエコ活動

市では、市民や事業者と一体となり、「自然、地域、地球を愛する」を基本方針とした環境基本計画を定め、さまざまな施策を展開しています。最近では、もったいない文化推進プロジェクトの第一弾として、「ふるしき講座」の開催や、市内全市立学校や公共機関でアサガオ、ゴーヤ、キュウリ等を育てる「緑のカーテン事業」、ごみ減量に向けた啓発活動としてエコぱくでの「こみの行方見学ツアー」を実施するなど、私たちの生活の身近なところでエコ意識を高める取り組みを実施中です。こうした取り組みで大事な事は、市民一人ひとりが、環境のために出来ることから少しでも取り組むこと。「もったいない」という意識を市民全員が持ち、実践に移すことが、環境問題の大きな前進につながります。

